# 第14回 宝塚混声合唱団音楽会



2002年7月6日(土) 開演 PM 4:00 宝塚ベガホール

主催:宝塚混声合唱団

後援:宝塚市・宝塚市教育委員会・宝塚市文化振興財団・宝塚合唱連盟

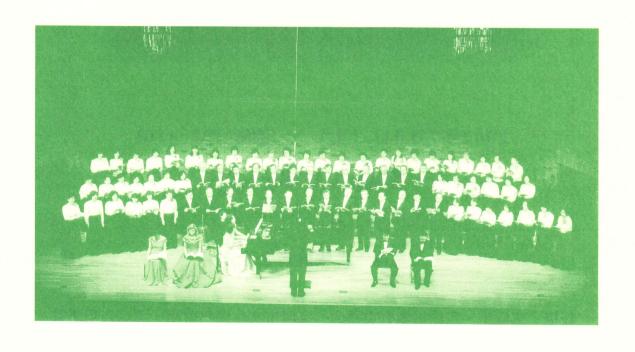
#### 

本日は宝塚混声合唱団第 14 回音楽会へお運びいただきまして、誠にありがとう存じます。

今回のプログラムでは、バッハ、ブラームス、ブルックナーのモテット3曲をアカペラと管弦楽器、木下牧子さんの方舟はピアノ、そしてモーツアルトのヴェスペレを小編成の管弦楽と一緒に歌います。また、モーツァルトには声楽家をソリストにお迎えしています。このように、今回は近年の私どもの音楽会の中でも、とりわけ華麗な色合いを帯びるものになりました。このような充実した音楽会をもつことができるのは、指揮者大森地塩氏のお力によるところが多大です。ここにあらためて団員の深い感謝の気持ちを表します。

私どもは、歌の本元は感動を共有することにあると考えます。そして合唱は、発声を基本に、歌詞との交感があり、指揮者と一体になった歌作りがあってこそ、聴いてくださる方々と感動を共にすることができるものと考えます。顧みますと、これらのどれをとりあげても努力の足りぬところばかりですが、見方を変えると、私どもはより良い歌を歌える可能性をまだまだ持っているわけでもあります。アマチュアということに甘えず、いっそう研鑚に励んでまいりますので、この後ともご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年7月 宝塚混声合唱団



### 

I. モテット集

Lobet den Herrn, alle Heiden O Heiland reiß die Himmel auf Graduale "Os justi" バッハ 作曲 ブラームス 作曲 ブルックナー 作曲

Ⅱ. 方 舟

- ① 水底吹笛
- ② 木馬
- ③ 夏のおもひに
- ④ 方常

ピアノ 國井美佐

大岡 信 作詩 木下牧子 作曲

モーツァルト 作曲

休 憩

III. Vesperae solennes de Confessore

聖人の盛儀の晩の祈り

- ① Dixit
- 2 Confitebor
- 3 Beatus vir
- 4 Laudate pueri
- 5 Laudate Dominum
- 6 Magnificat

ソプラノ 津山和代 アルト 野間直子 テノール 畑 儀文 オーケストラ Mozart 2002 Solisten

指揮 大森地塩

#### 

#### I. モテット集

#### Lobet den Herrn, alle Heiden Johann Sebastian Bach 1685-1750

「モテット」は簡単に言うと、教会合唱曲の広い範囲をカバーしてミサ曲と並ぶ主要な曲種で、6曲あるとされたバッハのモテットの一つがこの曲である。歌詞は宗教改革者ルターの訳したドイツ語旧約聖書から採られている。 曲は Lobet 「賛美せよ」と、喜びと共に堂々と始まり、綿密な構成で展開して行く中で神の恩恵が繰り返したたえられ、躍動するハレルヤのフーガ (模倣的形式)で終わる。

(旧約聖書詩編117)

Lobet den Herrn, alle Heiden und preiset ihn, alle Völker! Denn seine Gnade und Wahrheit waltet über uns in Ewigkeit. Alleluja. すべての国よ、主を賛美せよ。 すべての民よ、主をほめたたえよ。主の慈しみとまことは とこしえに私たちを超えて力強い。ハレルヤ(神を賛美せよ)

#### O Heiland reiß die Himmel auf Johannes Brahms 1833-1897

歌詞はカトリック教会のクリスマス前のミサの入祭唱(ミサの始まりのラテン語式文)をドイツ語に訳したもの。第 $1 \cdot 2$ 曲ソプラノ、第3曲テナー、第4曲バスがグレゴリオ聖歌の様式に基づくコラール(ドイツプロテスタント教会の会衆用賛美歌)の旋律になっていて、全体はコラール変奏曲と言える。旋律は格調高く、味わい深い。

- O Heiland reiß die Himmel auf, herab vom Himmel lauf! Reiß ab vom Himmel Tor und Tür, reiß ab, wo Schloß und Riegel für!
- O Gott, ein' Tau vom Himmel gieß, im Tau herab, o Heiland, fließ! Ihr Wolken, brecht und regnet aus den König über Jakobs Haus!
- O Erd, schlag aus, o Erd, daß Berg und Tal grün alles werd! O Erd herfür dies Blümlein bring, o Heiland, aus der Erden spring!
- 4. Hier leiden wir die größte Not, vor Augen steht der bittre Tod; ach komm, führ uns mit starker Hand, vom Elend zu dem Vaterland!
- Da wollen wir all danken dir, unserm
   Erlöser, für und für; da wollen wir all loben dich je allzeit immer und ewiglich. Amen.

- 1. おお救い主よ、天国の扉を開け、 そこから駆け降りて来たまえ。天国の 門と扉を引き剥がしたまえ。そのため錠と門をもぎ取って。
- 2. おお神よ、天国から一滴の露を注ぎたまえ。 おお救い主よ、露となって流れ落ちたまえ。 雲よ、あの王を吐き出し、ヤコブの家の上へ降らせよ。
- 3. おお大地よ、芽を吹け。山も谷もすべて緑になるように。おお大地よ、この小さな花を生み出せ。おお救い主よ、大地から飛び出したまえ。
- 4. 私たちはここで最大の苦境に悩んでおり、目の前には 苦い死がある。ああどうか来たもうて、 力強い手で私たちを異郷から祖国へ導きたまえ。
- 5. そのとき私たちは皆、解放者のあなたにいつまでも感謝します。 そのとき私たちは皆、いつもいつまでもあなたを 永遠にほめたたえます。アーメン (確かに)

# Graduale "Os justi" 答唱詩編「正しい者の口は」(リディア調) Anton Bruckner 1824-1896

Graduale はミサの儀式の一部で、ここではラテン語旧約聖書が使われている。ブルックナーは40代半ばまでは教会音楽家・合唱指揮者として活躍し、彼の宗教曲は当時のロマン派音楽と教会音楽の古い技法とがよく調和している。そして優れたミサ曲や交響曲だけでなく、このように古い様式に則った荘重で美しいモテットを残した。

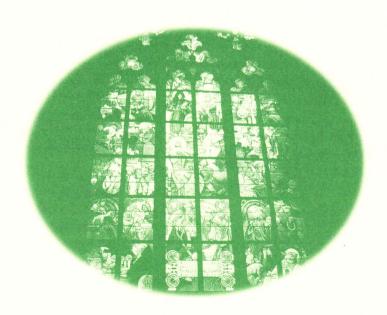
(詩編37.30-31)

Os justi meditabitur sapientiam, et lingua ejus loquetur judicium. Lex Dei ejus in corde ipsius et non supplantabuntur gressus ejus. Alleluja!

正しい者は口に英知の言葉があり、その舌は 正しいことを話す。その心には神のおきてがあり、 その歩みはよろけることがない。 アレルヤ

(参考:新共同訳他)

B (長尾)



本下牧子氏は大岡信氏の初期詩篇「方舟」から 4 篇を選んでこの組曲を作曲した(初演 1980 年)。 木下氏によると、「詩篇『方舟』はその比類ない格調の高さと、日本語の美しさという点において、 是非音響化したいという思いを抱かずにはいられないもの」であった。この言葉に誘われて四篇の 詩をくりかえし音にして読むと、日本語の響きと意味とそれらが生み出す映像に充たされる。絵は 音声の無い詩、詩は音声のある絵、と言う言葉がある。では、詩をメロディとリズムにのせてうた う歌は何だろう。それに和音が加わる合唱はどんな絵を描くのだろう。方舟を歌っているあいだ別 の世界にいるようだ。それと気づかぬままに、キャンバスの裏の不思議の世界にでも運ばれている のだろうか。

B (井上)

# ① 水底吹笛

三月幻想詩

ひょうひょうとふえをふこうよ くちびるをあおくぬらしてふえをふこうよ みなぞこにすわればすなはほろほろくずれ ゆきなずむみずにゆれるはきんぎょぐさ からみあうみどりをわけてつとはしる ひめますのかげ ---ひょうひょうとあれらにふえをきかそうよ みあげれば みずのおもてにゆれゆれる やよいのそらの かなしさ あおさ しんしんとみみにはみずもしみいって むかしみたすいしょうきゅうのつめたいゆめが きょうもぼくらをなかすのだが うっすらともれてくるひにいのろうよ がらすざいくのゆめでもいい あたえてくれと うしなったむすうののぞみのはかなさが とげられたわずかなのぞみのむなしさが あすののぞみもむなしかろうと ふえにひそんでうたっているが ひめますのまあるいひとみをみつめながら ひとときのみどりのゆめをすなにうつし ひょうひょうとふえをふこうよ くちびるをさあおにぬらしふえをふこうよ

#### ② 木 馬

夜ごと夜ごと 女がひとり ひっそりと旅をしている (ポール・エリュアール)

日の落ちかかる空の彼方 私はさびしい木馬を見た 幻のように浮かびながら 木馬は空を渡っていった

やさしいひとよ 窓をしめて 私の髪を撫でておくれ 木馬のような私の心を その金の輪のてのひらに つないでおくれ 手錠のように

#### ③ 夏のおもひに

このゆふべ海べの岩に身をもたれ。 ゆるく流れるしほの香にゆふべの諧調は海をすべり。 いそぎんちゃくのかよわい触手はひそかに流れ。 とほく東に愁ひに似てあまく光流れて。

このゆふべ小魚の群のゑがく水脈に。 かすかなひかりの小皺みだれるをみ。 いそぎんちゃくのかよわい触手はひそかに流れ。 海の香と胸とろかすひびきにほほけて。

とらはれの魚群をめぐるひとむれの鷗らに 西の陽のつめたさがくろく落ち。はなれてゆく 遊覧船のかたむきさへ 愁ひをさそひ。

このゆふべ海辺の岩に身をもたれ。 こころ開かぬままに別れしゆゑ ゆゑもなく慕はれるひとの面影を夏のおもひにゑが きながら。

# ④ 方 舟

空を渡れ 錨をあげる星座の船団 灯火は地球に絶えた 悲愁は冷たく迅やかだ 湖水の風に羽を洗う鳥たちはむなしく探す 昨日の空にはためいていた見えない河原を

ひとよ 窓をあけて空を仰ごう 今宵ぼくらはさかさまになって空を歩こう 秘められた空 夜の海は鏡のように光るだろう まこと水に映る森影は 森よりも美しいゆえ

夜の奥に胸を開いて歩み入れば 地球を彩る血の帯ははためくだろう 憎悪の暗い洞穴をゆさぶりながら 夜のしじまにしたたりながら おらびながら

この星がふるさとであるか 血は血を泛かべこの星がふるさとであるか 河は涸れ・・・・ 鳩たちが明るい林を去ってからすでに久しい 愛するものよ おまえの手さえ失いがちに モーツァルトは、故郷ザルツブルグで、カトリック教会の晩課のために二曲を作曲した。晩課(Vesperae)とは、中世以来のカトリック教会が一日を八つの時間に区切って行っている聖務日課のうち、最後の日没時に行われる重要な祈りのことである。

今回演奏されるのは、1780年に作曲された「証聖者の荘厳晩課」(VesperaeSolennes de Confessore)K339であり、モーツァルトのザルツブルグ時代最後のすぐれた宗教曲である。この曲は六つの部分からなる。第一の(Dixit、主は言われる)と、第六の(Magnificat、あがめ祀る)は、ともにハ長調で荘厳な趣きがあり、第二の(Confitebor、誉めたたえよう)ではグレゴリオ聖歌の司祭の先唱が引用され、第三の(Beatus vir、幸いな人)では、対位法を生き生きとした近代的音楽の中に溶け込ませ、第四の(Laudate pueri、誉めたたえよ下僕等)は、教会様式によりつつも、大胆な半音階を用いた転調を行っており、第五の(Laudate Dominum、主を誉めたたえよ)は、教会的なものに無頓着な表現の詩情をもつ、といわれる。この曲を知らない者は、モーツァルトを知る者とは言えぬと音楽学者アインシュタインがいう名曲である。

B (森)

#### ① Dixit (詩編110 合唱と独唱)

Dixit dominus Domino meo: Sede, a dextris meis:

Donec ponam inimicos tuos, scabellum pedum tuorum.

Virgam virtutis tuae emittet Dominus ex Sion:
dominare in medio inimicorum tuorum. Tecum
principium in die virtutis tuae in splendoribus
sanctorum: ex utero ante luciferum genui te.

Juravit Dominus, et non poenitebit eum: Tu es

Juravit Dominus, et non poenitebit eum: Tu es sacerdos in aeternum secundum ordinem Melchisedech. Dominus a dextris tuis, confregit in die irae suae reges.

Judicabit in nationibus implebit ruinas, conquassabit capita in terra multorum.

De torrente in via bibet: propterea exaltabit caput. (以下各曲共通) Gloria Patri, et Filio, et Spiritui Sancto. Sicut erat in principio, et nunc, et semper, et in saecula saeculorum. Amen.

主は私の主君に言われた。「私の右に坐りなさい。 私があなたの敵をあなたの足台とするときまで」 主はあなたの力ある杖をシオンから差し出される。 「敵のただ中で支配しなさい。

聖なる輝きの中であなたの力が現れる日、それは高貴な力である。 夜明け前に私はあなたを産んだ。」 主は誓われた。そしてそれを思い返されることはない。 「あなたはメルキゼデクと同じように永遠に祭司 である」と。主はあなたたちの右に立ち、怒りの日に 諸王を打ち砕かれる。

主は諸国を裁き、広大な地で 首領たちを撃ち、しかばねで満たされる。 王は道すがら流れから水を飲み、頭を高く上げる。 願わくは父と子と聖霊に栄えあらんことを。 始めにありしごとく、今もいつも 世々に至るまで。アーメン (確かに)

#### ② Confitebor (詩編111 独唱と合唱)

Confitebor tibi Domine in toto corde meo: in consilio justorum, et congregatione. Magna opera Domini: exquisita in omnes voluntates ejus.

Confessio et magnificentia opus ejus: et justitia ejus manet in saeculum saeculi.

Memoriam fecit mirabilium suorum, misericors et justus: escam dedit timentibus se.

Memor erit in saeculum testamenti sui: Virtutem operum suorum annuntiabit populo suo: Ut det illis, hereditatem gentium.

Opera manuum ejus veritas et judicium. Fidelia omnia mandata ejus: confirmata in saeculum saeculi: facta in veritate et aequitate.

Redemptionem misit Dominus populo suo: mandavit in aeternum testamentum suum.

Sanctum et terribile nomen ejus: initium sapientiae timor Domini.

Intellectus bonus omnibus facientibus eum: laudatio ejus manet in saeculum saeculi.

Gloria Patri · · · · ·

正しい人たちの集い、会衆の中で。主のみわざは大きく、それを愛する者は皆探し求められる。 主の成し遂げられることはたたえられ、輝き、 その正義はいつの世までも及ぶ。 主はその驚くべきみわざを思い起こすようにされた。 主は情け深く正しく、主を畏れる者たちに食物を与え られた。契約をとこしえに御心に留め、 みわざの力をご自分の民に示し、諸国の嗣業を ご自分の民に与えられる。

主よ、私は心を尽くしてあなたをたたえよう。

御手のわざはまことの裁き、主の 命令はすべて真実、世々限りなく堅固に まことをもって公正に行われる。 主はご自分の民に贖いを送り、契約を とこしえのものと指示された。 神聖で畏敬すべきは主の御名。主を 畏れることは英知の始まり。 これを行う人はすぐれた思慮を得る。 主の賛美は永遠に続く。

#### ③ Beatus vir (詩編112 独唱と合唱)

Beatus vir, qui timet Dominum: in mandatis ejus volet nimis. Potens in terra erit semen ejus: generatio rectorum benedicetur.

Gloria et divitiae in domo ejus: et justitia ejus manet in saeculum saeculi. Exortum est in tenebris lumen rectis, misericors et miserator et justus.

Jucundus homo qui miseretur et commodat, disponet sermones suos in judicio: quia in aeternum non commovebitur.

In memoria aeterna erit justus: ab auditione mala non timebit. Paratum cor ejus sperare in Domino, non commovebitur donec despiciat inimicos suos.

Dispersit dedit pauperibus: justitia ejus manet in saeculum saeculi: cornu ejus exaltabitur in gloria.

Peccator videbit et irascetur dentibus suis fremet et tabescet: desiderium peccatorum peribit.

Gloria Patri · · · · ·

主を畏れる者、主の戒めを深く愛する者は幸いである。 彼の子孫はこの地で勇士となり、 そのまっすぐな心の世代は祝福される。 彼の家には栄誉と富があり、その公正な行いは 永遠に伝えられる。まっすぐな者には闇の中にも 光が昇る。恵み深く、情け深い正しい光が。 憐れみ深く、貸し与える人は良い人。裁きのとき、 彼の言葉は支えられる。彼は永遠に 動揺することはない。

正しい者はとこしえに記憶される。彼は悪いうわさを立てられても恐れない。その心は固く主に信頼している。彼は動揺することなく、ついに敵を見下ろす。彼は貧しい人々に分け与え、その公正な行いはいつの世までも伝わる。彼の角は高く上げられて、栄光に輝く。よこしまな者はそれを見て怒り、歯ぎしりし、力を失う。よこしまな者の野望は滅びる。

#### ④ Laudate pueri (詩編113 合唱)

Laudate pueri Dominum, laudate nomen Domini. Sit nomen Domini benedictum, ex hoc nunc et usque in saeculum. A solis ortu usque ad occasum, laudabile nomen Domini.

Excelsus super omnes gentes Dominus, et super coelos gloria ejus. Quis sicut Dominus Deus noster, qui in altis habitat, et humilia respicit in coelo et in terra?

Suscitans a terra inopem, et de stercore erigens pauperem: Ut collocet eum cum principibus, cum principibus populi sui.

Qui habitare facit sterilem in domo, matrem filiorum laetantem.

Gloria Patri · · · · ·

主のしもべらよ、主を賛美せよ、主の御名を賛美せよ。 今よりとこしえに主の御名が 祝福されるように。日が出てから沈むまで 主の御名が賛美されるように。 主はすべての国を超えて優れ、主の 栄光は天を超えている。高い座につきながら 低く下って天と地をご覧になる私たちの神、主のような 者があろうか。

主は力のない者を土から起こし、貧しい者をごみの中から 高く上げ、貴族たち、主の民の貴族たちと同じ 所に坐らせてくださる。 子のない女を、子を持って喜ぶ母として家に

子のない女を、子を持って喜ぶ母として家に 住まわせてくださる。

#### ⑤ Laudate Dominum (詩編117 独唱と合唱)

Laudate Dominum omnes gentes: laudate eum omnes populi: Quoniam confirmata est super nos misericordia ejus: et veritas Domini manet in aeternum.

Gloria Patri · · · · ·

(訳はバッハのモテットと同じ)

#### ⑥ Magnificat (ルカによる福音書 1.47-55 独唱と合唱)

Magnificat anima mea Dominum. Et exultavit spiritus meus in Deo salutari meo. Quia respexit humilitatem ancillae suae: ecce enim ex hoc beatam me dicent omnes generationes.

Quia fecit mihi magna qui potens est: et sanctum nomen ejus. Et misericordia ejus a progenie in progenies timentibus eum.

Fecit potentiam in brachio suo: dispersit superbos mente cordis sui. Deposuit potentes de sede et exaltavit humiles. Esurientes implevit bonis: et divites dimisit inanes.

Suscepit Israel puerum suum, recordatus misericordiae suae: Sicut locutus est ad patres nostros, Abraham et semini ejus in saecula.

Gloria Patri · · · · ·

私の魂は主をあがめ、私の霊は牧い主の神を喜びたたえます。身分の低いこの主のはしためにも目を留めてくださったからです。見てください、これからいつの世の人も私を恵まれた者と言うでしょうから。 力のある方が私に偉大なことをなさいましたから。その御名は神聖です。その憐れみは子孫から子孫へと及びます。

主はその腕で力を振るい、思い上がる者たちを打ち散ら されました。権力ある者をその座から引き下ろし、身分の 低い者を高く上げられました。飢えた人を良い物で 満たし、富める者を何も無しに追い返されました。 そのしもベイスラエルを受け入れて憐れみをお忘れに なりません。私たちの先祖におっしゃったように、 アブラハムとその子孫に対してとこしえに。

(参考:新共同訳他)

B (長尾)